翻　　訳

中国の政治的階層と経済的階層*

李　　強** 著
李　　為*** 訳

［訳者解説］
一、問題の提起
二、経済的階層の格差の変遷
三、政治的階層の格差の変遷

［訳者解説］

本稿は、李強「政治分層与経済分層」、『社会学研究』（発行所：中国社会科学院社会学研究所）Pp.32-41、1997年第4期の全訳である。

李強先生は1950年5月17日北京に生まれ、現在、中国人民大学社会学部学部長、人民大学社会学研究所所長である。このほか中国社会学会副秘書長、中国投資環境学会副理事長、国家民政部（省）政策研究室顧問、全国総工会政策研究室顧問などの職を兼任されている。以下、その経歴と業績について述べておきたい。

李先生は1982年に中国人民大学国際政治学部をご卒業になり、1985年に法学修士号を取得された。1990-1991年、イギリスに留学され、欧米の社会学を研究された。1985年に人民大学社会学部の講師に就任され、その後、理論社会学、社会階層と社会移動、応用社会学を中心に研究されている。1992年関学社会学部創設三〇周年記念に講演をなされた鄭杭生先生は中国人民大学社会学部の初代の学部長であり、李強先生は第二代の学部長である。再建後の中国社会学界における代表的な社会学者である。

李先生は社会集団を研究するに当たって、収入と職業（身分）という指標を重視し、中国社会における貧富の格差の特徴と趨勢を研究されている。収入に関する研究では、「集団内格差」と「集団外格差」という概念を提示し、中流層を拡大させ、貧富の格差の行き過ぎを防ぐことの重要性を、指摘されている。職業（身分）に関する研究では、多角的に中国社会の職業階層、例えば、農民、都市の出稼ぎ農民、労働者、知識人、管理者幹部、そして自営業者、私営企業経営者などについて研究されている。経済改革以前、都市住民と農民の「二元構造」であった中国社会が、現在は都市住民と農民、そして都市に入った農民より成る「三元社会構造」になっているととらえ、都市の出稼ぎ農民に一つの準身分を与え、彼らの都市での行動が責任感あるものにしていくための政策転換が必要であると指摘されている。

李先生の主な業績は次の通りである。著書としては 1.『中国大陸的貧富差別』（単著）2.『当代中国社会分層与流動』（単著）3.『西方社会学史』（共著）4.『社会学原理』（共著）5.『社会調査研究方法概論』（共著）6.『社会指標理論研究』（共著）7.『社会運行導論』（共著）8.『社会学概論新修』（共著）9.『応用社会学』（共著）10.『当代中国社会結構和社会関係研究』（共著）11.『中国的扶貧之路』（主編）など。主な論文としては 1.「白領工会主義」（ホワイト組合主義）2.「主観社会指標及其応用」3.「論中国貧困文化」4.「関於相対貧困層的研究」5.「中等収入層問題研究」6.「中国企業内部的幹群矛盾」7.「中国大陸的職業結構」（英語）8.「関於城市農民工的情緒傾向及社会沖突問題」9.「関於従業人員収入差距的中英対比研究」10.「当代中国的社会両極分化問題」などがある。

最後に、関西学院大学と中国人民大学は1990年

*キーワード：政治的階層、経済的階層、逆U字型曲線理論
**中国人民大学社会学部学部長・教授
***関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程